

# フリスタFXの秘密

著者

根崎優樹

改めましてこんにちは。  
株式会社チャートマスターの根崎優樹です。

今日はお待たせしていた「**フリスタFXの秘密**」に関して、  
洗いざらい全てお話していこうと思います。

昨日のレポートで出題させて頂いた問題の「解答」も、  
このレポートで行っていきますので楽しみにしておいてください。

さて。

本題に入る前に、まずは「衝撃的なニュース」をご紹介します。

それは・・・

## 高齢者の4割が陥る「老後破産」 貯蓄4千万円でも安心できない・・・

これは数年前に何度も見かけたニュース記事ですが、意識して調べてみると似たような話題がたくさん見つかりました。

### 「老後破産」

これは悪い意味で「話題のキーワード」となっているようですが、その実態は僕が想像していたより遥かにヒドイもので、これからどんどん「高齢化社会」になっていく日本において、目を背けてはいけない問題だと思っています。

# 高齢者世帯の4割は老後破産状態？少額年金、住宅ローン、子どもの借金…貯蓄も危険

2015年2月25日 6時0分 ビジネスジャーナル

テレビ、週刊誌などでは、「老後破産」と銘打ち老後の生活に苦勞している高齢者を取り上げることが増えています。

「老後破産」とは、高齢者が生活保護基準より低い収入で生活している状態を指し、現在、高齢者世帯の約4割が老後破産状態にあります。



## 「約4割が老後破産状態にある」

これは本当に笑えない現実でして、半分近くの世帯が破産状態ってことですから、将来に希望が持てなくなります。

しかも、何より衝撃的だったのは「貯蓄4千万円でも危険」という点。

なぜこのような事になるのかと言うと、年金の支給額が生活費を下回ってしまっていることが原因のようです。

厚生年金の場合、夫婦2人分の老齢基礎年金を含む標準的な年金額は **22万6,925円**なのに対して、平均的とされている生活費は **27万円**・・・

5万円近くも生活費に足りていない・・・というのが実態です。

更にひどいのは国民年金で、大体・・・月額満額で6万4,400円。  
夫婦2人で12万8,800円と、とてもじゃないけど生活できるレベルには程遠い  
ことがお分かり頂けるかと思います。

足りない分を補う為には「貯蓄を切り崩す」しかないわけです。

平均生活費である27万円から国民年金の約13万円を引くと、不足額は14万円。  
1年間で168万円。65歳から85歳までの20年間で「老後」とした場合、  
実に**3,360万円も必要になるのです！**

平均生活費よりも「少しだけ」裕福な生活をしてしまったり、平均寿命よりも  
「少しだけ」長生きしてしまったり・・・確かに4千万円の貯蓄があっても  
破産してしまう計算になるんです。

と言うか自分で言っていて怖くなったのですが、「長生き"してしまったら"」と  
言うように、今の時代と言うのはまるで「長生きする事が悪」であるかのような  
状態なのです。

残酷な話ですがこれが現実なんですね。

しかもですよ？

働き盛りの現役時代には会社にこき使われ、せつかく自分が生み出した売上を  
ピンハネ（平均的に給料の10倍相当が会社に抜かれていると言われていました。）  
され、自分の時間を持つことも許されず、朝から晩まで働き詰め・・・

休日出勤、残業、ハードワークは当たり前で、家族から冷たい視線を浴びせられ、  
肩身の狭い思いをして頑張ってきたはずなのに・・・それだけ何十年も  
「相当な努力」をして来たはずなのに・・・

**それでも老後は破産状態。**

これでは報われないと思いませんか？

しかも・・・・・・・・

これから日本はアベノミクスの影響で「インフレ」に向かっていくわけで、この流れは「国政」なので止められない・・・

インフレになるって事は当然ですが「物価が上がる」ってことを意味してる。

つまり、**先ほどの平均生活費というのも上がる**って事です。

いま現在の段階で4割もの高齢者世帯が「老後破産」という状態にあるのに、これから老後をむかえる僕達は、更に厳しい現実が待っているのは誰の目から見ても明白です。

少なくとも今のままではダメなんです。

新しく収入を得るすべを身につけなければ、本当に大変なことになってしまいます。

こういう状況から考えても、やはり僕は「今の内から」FXを始めるべきだと思っていて、トレード技術をしっかり身につけることで、**相場がある限り（資本主義が続く限り）稼ぎ続けることが出来るようになること。**

それが非常に重要だと思っています。

それに、これから世界はドンドン「グローバル化」していくわけで、日本のことだけ考えておけば良かった時代とは180度状況が変わります。

世界情勢に強制的に巻き込まれていくわけですよ？

そんな状況の中で、日本は投資リテラシーが低いから・・・なんて事は通用するわけもなく、他の先進国と全く同じステージで戦っていかなければなりません。

世界情勢を常に意識していかなければいけないと言う事。

そういう背景も考えると、外国為替や仮想通貨を扱うFXと言うのは、世界への「窓口」のようなものなので、今後襲い掛かってくる「グローバル化」という「大きなうねり」に備える意味でも、世界へ目を向ける良いきっかけにもなると思っています。

そんなFXをはじめとしたトレードを、これからこのレポートやメール、動画なんかを通して、あなたにも学んでいって頂こうと思っているのですが、世間を見渡せばあちらこちらでFXに関する情報を見かけます。

投資塾しかり、情報商材しかり、書籍しかり、Twitterしかり、ブログしかり。

しかし、こういった様々な情報と言うのは、僕が目から見たら「玉石混交」しているのです、長年FXに携わっている人でないと見抜くのは難しいだろうな〜と思います。

そこで、「特に注意が必要」だと思うものをいくつかピックアップしましたので、まずは参考がてら目を通してみてください。

## 初心者トレーダーさんは特に注意が必要！ 知らなきゃ怖いFXの世界。

### ■スキャルピング

理由がよく分からないのですが、世間ではやたらとスキャルピング（超短期トレード）が流行っているようですが、スキャルピングは初心者さんには不向きです。

なぜなら、基本的にチャートを元にしたトレードと言うのは「統計学」の世界ですから「大数の法則」がポイントになります。

要は「情報量が多い方が統計学としては正しくなる」って考え方ですね。

そう考えると、超短期トレードのスキヤルピングの場合、主に「1分足」を使いますから、ティックチャート（リアルタイムレートだと考えてください）について情報量が少ない（60秒分しか無い）わけです。

つまり・・・

**情報量が少ない＝統計学としては信憑性に欠ける＝チャート分析には不向き**

と考えられます。

更に言うなら、瞬間的なタイミングを狙うのがスキヤルですから、常にチャートに向き合っておく必要がありますし、常に集中力を保っておく必要もある。

その上「判断力」がものを言うので、集中力が切れてくると「**ミスをする確立**」も上がってしまうのです。

こういった総合的な観点から見ると、スキヤルピングは初心者には不向きですし、中級者も出来れば避けた方が良い・・・

ベテランが「資金効率の良さ」を求めてやるには有りだと思いますが、1日中チャートにへばりつく覚悟は必要です。

僕はCFG（Concorde Forex Group）に通っていた頃、メンターであるスコットから「絶対にスキヤルはやるな！」と言われていたもので、チャートマスターでは一切スキヤルピングを教えていません。

**僕自身もメインは日足、週足で、エントリーポイントを1時間足（60分足）で、ゆっくり判断する・・・という感じです。**

**要は時間に余裕があって、のんびりトレードするようにしているということ。**

## ■シグナル配信

投資助言業社から「売買シグナル」を受け取って、それを元にトレードする・・・  
と言うのも多く見られます。

ここ数年は「コピートレード」とか「PAMM (パムやママ)」なんてものも流行  
っているようです。

「プロトレーダーと同じことをする＝同じ結果が得られる」

と言うのが最大の魅力で、一見すると初心者向きのように思えますが、実際の  
ところは全く逆だとお考えください。

なぜなら「配信者の意図」が分からないまま「ポジションを持たされる」ので、  
少しでも逆に向かった時はストレスが半端じゃないです！

もうヒヤヒヤで夜も眠れません。

仕事をしている人だと仕事も手につかなくなったりしてしまいます。  
それくらい極度のストレスがかかるんですね。

それに・・・・・・・・

業界的な裏を話すと、多くの業者は「ピップスバック (手数料のキャッシュバ  
ック報酬)」というものを狙っている場合が大半で、最初からあなたを稼がせる  
気なんてさらさら無い・・・と言うのが本音。

出来るだけ取引回数を増やして (必然的にスキャルになる) 手数料がほしいだ  
けなんです。

こういう「確信犯的な悪意ある業者」が紛れ込んでいるので、見破るのは至難  
の業。。

そもそも「他人のトレード」を黙って受けているだけでは、いつまで経っても自分自身の成長は全くありませんから、「生涯稼ぎ続ける能力を得る」という事は不可能なんです。

業者が「やめました」と言った時点で終わりです。

それ以前に「負けました・・・」となったら共倒れですからね。  
こういうパターンが大半だとも聞きますし・・・(汗)

何にせよシグナル配信やコピートレードの類は、すでにお金持ちの人がリスク分散の為にやる分には構いませんが、初心者～中級者が手を出すべきではありません。

初心者であればこそ、今の内に「生涯稼ぎ続けられるトレードスキル」に集中した方が結果的にはお得だと言っていいかと思います。

## ■EA（自動売買）

もうね・・・これが1番最悪です。(汗)  
絶対にNG。

超上級者ならまだしも、初心者がEAで勝てるはずがない。

「自動売買なんだから初心者も上級者も関係ないのでは？」

こんな声が聞こえてきそうですが、それがそうでは無いのです。

いわゆる「自動売買」と言うものは、ほぼ間違いなく勝つことは出来ません。

完璧にプログラミングされたものが「本当に作れる」のなら、大手が絶対やっていますから！

過去、1924年2月24日に運用を開始した「LTCM (Long Term Capital Management)」というヘッジファンドがありました。

ソロモン・ブラザーズの債権トレーダーだった「ジョン・メリウェザー」の発案によって設立され、マイロン・ショールズとロバート・マートンという2人の「ノーベル賞経済学者」と、FRB（アメリカの中央銀行）元副議長のデビッド・マリンスをチームに加えたこのヘッジファンドは、「ドリームチーム」と呼ばれて世界的に注目を集めました。

ノーベル賞受賞者2人によって「**数学的に正しいと証明された**」ロジックである「**ブラック・ショールズ方程式**」を使って運用を開始。

しかし、**キックオフからわずか4年で「実質崩壊**」したのです。

世界最高峰の頭脳を寄せ集めて導き出したロジックでさえ、わずか4年しか持たなかったのは、あまりにも有名な話です。

これこそ「自動売買＝システムトレード」では勝てない・・・という答えです。

ではなぜ上級者なら勝てる可能性があるのか？ですが、それは・・・

「自動売買システムを"手動（裁量）"で使い分けているから」です。

自動売買システムなのに任せていないのです。

相場の状況に合わせて最適なシステムに入れ替えて運用しているわけですね。

結局のところ重要となってくるのは「相場観」なんです。

チャートマスターが口を酸っぱくして伝えているのも、投資の原理原則と、この「相場観」なんですね。

この点はまた追って説明していきます。

結局のところ、初心者～中級者の方々がFXで勝つ為には「裁量トレード」しか無いわけで、その中でも「スイングトレード（中期）」がベストだと言うことになります。

しかし、単純に裁量トレードと言っても実に様々な手法がありまして、どれが良いのかが難しいところ・・・

1つ1つ解説してはいくら時間があっても足りないので、ひとまずザックリと考えていきたいと思います。

まず・・・

### 「エントリーポイントに悩むものはNG」

エントリーに悩むということは、結局どこで入っていいか分からないってことなので、必然的に「迷い」が生まれます。

そうすると怖くて一切トレード出来なくなるか、逆にポジポジ病（ついついポジションを持ってしまう事）になってしまうかのどちらかです。

これでは「正しいトレード」どころではありません。  
話しにならない状態ですからね・・・

### 「極端に勝率が悪いものもNG」

トレーダーも当然「人間」ですから連続で負け続けると心が折れるし自信も持てなくなります。何よりストレスがハンパじゃない。

「勝率100%」なんてのはあり得ないし不可能だけど、なるべく勝率は高い方が良い。それはシステムとして・・・ではなく、トレーダー自身のメンタルにおいて勝率が大きく影響してくるからです。

## 「リスクリワードが極端に悪いものもNG」

リスクリワードとは、リスク（損失）に対してリワード（利益）がどれだけあるのか？という考え方です。

1回の負けで1万円損するけど、1回の勝ちでは10万円利益が出る・・・  
と言う状態なら、リスクリワード1：10 となります。

俗にいう「**損小利大**」と言うやつですね。

僕が過去、「勝っているのに利益が残っていない」という経験をしたのは正にこれで、1回の負けで5回分の勝ちトレードをふっ飛ばすようなトレードをしていたからです。

「リスクリワード5：1」という状態で、さっきと真逆で「**損大利小**」という状態だったわけですね。

健全なトレードをする為には「損小利大」になっていなければいけないのです。

ではどんなトレードスタイルが良いのか？

これを一緒に考えていきたいのですが、ここまでの話で分かるように、

- ・ **中長期的なトレード**
- ・ **明確なエントリーポイントがあるもの**
- ・ **一定の勝率をキープできるもの**
- ・ **リスクリワードが比較的高いもの**

こういうトレードスタイルがベストだと言えるわけですが、これこそ正に「フリスタFX」なんですね。

ここからが本題ですが、フリスタFXとはどういう手法なのかを公開していきたいと思います。

# フリスタFXの秘密

それでは早速ですが、ドズバでノウハウの確信に触れていこうと思います。

そもそも「フリスタFX」と言うのは「2つの手法」を合わせた総称です。

トレンド相場でもレンジ相場でも「どんな相場でも」トレードしたい時に出来るようにする為に、2つの手法を組み合わせているのですが、ここでは1つ目の手法に関して説明していきたいと思います。

フリスタFX其の1・・・とでも言えば良いでしょうか？

フリスタFXの申し込みページでもお伝えしていたように、「ローソク足」を使ってトレードする手法をご紹介しますと思います。

**この手法は「プライスアクションフォーメーション」と言います。**

プライスアクションフォーメーション（以下、プライスアクション）とは、ローソク足を使ったトレードで、値動きを見ながらトレードする方法となります。

その中でも僕が使っている手法というのは、

## ■Pin Bar（ピンバー）

という特殊な形（アメリカでは”ピノキオの鼻”と解釈されています）のキャンドル（ローソク足）を起点にトレードする方法です。

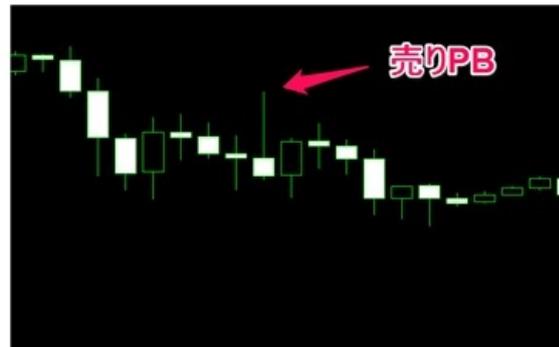
ピンバーと言うのは、上ヒゲや下ヒゲのローソク足のうち、一定の条件を満たしたものをピンバーと呼びます。

下記の図をご覧ください。

## 買いのPB



## 売りのPB



これが「ピンバー」と呼ばれる形のキャンドルで、実体（四角い部分）に対してヒゲ（棒の部分）が約3倍以上の長さに伸びているものをピンバーと呼びます。

で、ここ重要なことなのですが、**ピンバーと言うのは「反転のシグナル」**です。

ですからピンバーをシグナルとしてエントリーするのは、値動きが反転するタイミングを狙ってトレードする方法になります。

具体的にどういうタイミングでエントリーするかというと、

- 買いのピンバーならピンバーの高値ブレイクアウト
- 売りのピンバーならピンバーの安値ブレイクアウト

このタイミングでエントリーしていくことになります。

実際のチャートを見てきましょう。



はい。これだけです。  
シンプルですよ？

買いのピンバーなら実体を超えた（ブレイクアウト）タイミングでロング（買い）でエントリーし、売りのピンバーなら実体を抜けた（ブレイクアウト）タイミングでショート（売り）でエントリーするだけ。

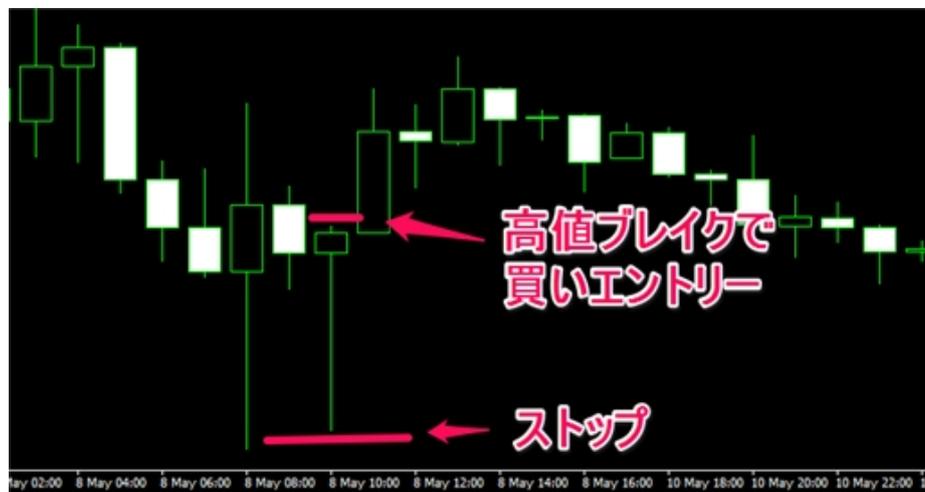
**エントリーポイントが非常に明確なのが大きなポイント。**

ロスカット（損切り）はピンバーの「ヒゲの先端」に置いて、後はチャートを追いかけてロスカットポイントをスライド（トレーリングストップ）していけばOKという、めちゃくちゃ簡単なトレードとなっています。

こちらにも実際のチャートを使って説明しますね。

次のページをご覧ください。

### 買いのピンバーのロスカット設定

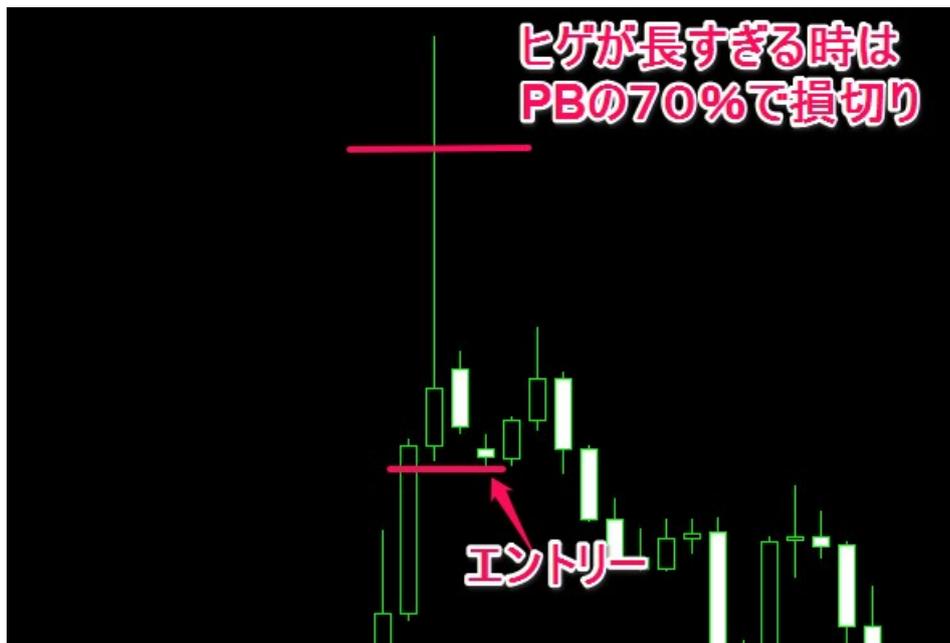


### 売りのピンバーのロスカット設定



時々ピンバーのヒゲが長すぎて、ロスカット幅が広すぎる場合があります。

そんな場合はどうするかと言うと、ピンバーの70%くらいの位置にロスカットを置くようにします。



上記のような感じですね。

これ（ロスカット設定）も非常に明確で簡単ですよ？

後に掲載する例をご覧くださいければ分かりますが、この位置でのロスカットと言うのは非常にリスクリワード比が良くなります。

「損小利大」ってやつですね。

明確なロスカットで損小利大が実現できるわけなので、損失が膨らんだりすることへのストレスはほとんど感じなくて済むようになります。

それでは実際のチャートで、いくつかピンバーの例を見て行きましょう。



このように、ピンバーは様々なシーンにおいて有効に機能しますし、リスクワード比も勝率も両方に優れたトレード法なんです。

その上ここまでご覧頂いたように「超シンプル」なトレードがピンバーを使ったプライスアクションなのですが、エントリーする際に注意して頂きたいことがあります。

それは、ピンバーが発生してからエントリーまで結構時間がかかる。

という点です。

F X初心者の方だと、ここを我慢できずにフライングしてエントリーしちゃったりするわけですが、ここは注意が必要です。

先程も少し話しましたが、ピンバーは反転のシグナルです。そして相場の反転には時間がかかるものなのです。

買いの勢力と売りの勢力が拮抗して、狭い値幅でウダウダする時が多々あるのですが、それは最後の戦いが行われているという証拠で、その間にたまったパワーがブレイク後に一気に吹き出す・・・と言うのが特徴。

つまり、トレーダーとしてのあなたの仕事は、ピンバーをしっかりとブレイクするまで落ち着いて見守ること。

これがピンバーの特徴ですから、僕は普段からチャートチェックは時々行うだけで、ピンバーが出そうなチャート形状だったり（これはまた別途説明します）、ピンバーが出そうだけど狭い値幅でウダウダ拮抗していたりした場合は、アラーム（決めたポイントで携帯に通知が来る設定）を入れて遊びに行ってしまう。（笑）

で、しっかりとブレイクしたらスマホとかで外出先からエントリーするわけです。

だからチャートに張り付いている必要がない・・・むしろ張り付いてはポジポジ病になりかねないので、状況だけチェックしたら、むしろ後は見ない方が良いのです。

さて。

ここまでは良いですか？

しっかりついて来ていますでしょうか？

また追って（数日後予定）プライスアクションを動画で解説したモノをお届けしますので、もし今ついてこれてなくても構いません。

ゆっくりしっかり行きましょう！

大まかにはピンバーを使ったプライスアクションはご理解いただけたと思いますが、大前提としてこの手法は「どんな時間足でも有効」なトレード法なんです。

つまり、あなた自身の生活スタイルに合わせたトレードが出来るということ。

しかし、このレポートでもお伝えしたように僕はスキャルピングは推奨しません。むしろ反対です。

1分足とか5分足だと、情報量が少ない分どうしてもピンバーの精度が落ちてしまいますし、何より画面に張り付かなくてはいけないのは想像以上に精神をすり減らします。

それじゃあまり意味が無い・・・と言うか、わざわざ無意味に厳しい戦いを挑む必要は無いと思うんですね。

ではどうすれば良いか？

簡単です。

長い時間軸でトレードすれば良いだけです。

要は日足とか240分足（4時間足）とかですね。  
後はせいぜい60分足。

時間軸が長いトレードになればなるほど情報量が増えるので、統計学が適応されやすくなります。

つまり「精度が上がる」ということ。

その上でゆっくりとした時間軸なので、せかせかトレードする必要は皆無ですし、僕のように週に1〜3回程度のトレードで良くなりますので、チャートに縛られることも無ければ、時間に縛られることも無くなります。

正に「自由」な生活が出来ると言うことですね。

僕がメインにしている「日足でのピンバープライスアクショントレード」だと、本当にストレスフリーな生活スタイルを手に入れることが出来ます。

チャートチェックは1日1回でOKですし、エントリーしてからも数日放置出来るくらいゆったりしたトレードになるので、その間は遊んでいればOK。

勝つ時は10万円〜30万円くらい（元本50万円として）勝つので、極端な話として数回勝てばそれで生活出来てしまうくらいの利益が手に入る。

「ええ・・・本当かな・・・」

こんな声も聞こえてきそうですが、すでにピンバーのプライスアクションはお伝えしたわけですから、さっそくチャートを開いて過去のチャートパターンから検証してみてください。

実際にあなた自身の目で。

ターゲット（利確ポイント）の決め方など、もうちょっと踏み込んだテクニックに関しては追って動画でご説明しますので、そちらの動画を待っている間に（数日後にお届け予定です）、何となくでも構わないので検証してみてください。

いかにこのピンバープライスアクションの精度が優れているかは、実際にご覧頂ければ一目瞭然ですので。

## 「勝てる時に勝つ！」これが鉄則。

ピンバーのプライスアクションフォーメーションは、ただ単純にそれだけやり続けても十分勝てる方法なのですが、その中でも「鉄板パターン」というものがいくつか存在します。

「よっしゃ！これ来たね！！」

と思わずテンションが上ってしまうような、**ピンバーの中でも鉄板パターンのピンバー**があるわけです。

こういう「鉄板パターン」に関してなどは追ってお話していこうと思っておりますが、極端な話FXは確率論ですから「勝てる時に勝つ！」というのが鉄則なのです。

なので鉄板パターンだけに絞ってトレードすれば、それだけ「**勝率が高くなる**」わけですね。

その分「資金効率が落ちる」というデメリットが存在しますが、資金効率にこだわればこだわるほど「短い時間足＝スキャル」となっていくので、勝率は下がるわチャートに張り付かないといけないわで、精神衛生上「最悪」な環境でのトレードが続いてしまいます。

そうするとミスも増えてしまいますので、結果的にデメリットの方が大きい・・・

こういった点も踏まえて考えると、やはり僕はゆとりのあるトレードの方が総合的に見てメリットの方が大きいと考えています。

で、話を戻すと・・・ピンバーのプライスアクションには「鉄板パターン」がいくつか存在し、それだけを「狙い撃ち」することから始めるのがベストだと言えます。

ここまではいいですか？

この「ピンバーのプライスアクション」を検証して頂ければ分かるかと思いますが、驚くほど似通った値動きをするんですね。

**なぜこれほどピンバーは有効に機能するのか？**

こういう疑問がわいてくるかも知れませんが、それには「人間」という生き物の特徴が深く関わっています。

それは・・・

## 人間は習慣の生き物

これなんですね。

人間は同じような環境におかれた時、何度も何度も何度も何度も同じような反応を示し、同じような行動をとります。

注意深くチャートを見てみると、同じようなチャートパターン、同じようなローソク足のパターンが何度も繰り返されていることに気づくかと思います。

相場環境における「トレーダーの習慣」を見つけることが出来れば、それをそのままトレード戦略に落とし込めばいいわけですね。

ピンバーは正にその一例なんです。

トレーダーにおける共通の感情は「強欲」「恐怖」「比較」という感情で、この感情の支配からは原則的には逃れられないのが人間です。

それならば、そういう感情が「より多く露呈するシーン」を攻めていけば、多くのトレーダーよりも優位に立てる状況が一定のポイントにおいては存在することになります。

僕の場合は、それが「ピンバーだった」と言うだけなんです。

### 「ピンバーが"なぜ"形成されるのか？」

という、ピンバーが出来るシーンを想像してもらえると分かりやすいかと思うのですが、ちょっと文章で伝えるのはかなり難しなので、追ってお届けする動画講義の中ででも、改めて「ピンバーが形成される背景」を話していきたいと思っています。

そこにはトレーダー特有の感情や行動パターン、習慣と言うのが隠れていますので。

楽しみに動画をお待ちくださいね！

一気に色々詰め込んでしまうと大変なので、僕の手法・・・いわゆる「フリスタFX」に関して今日はこの辺でやめておきますが、追って動画講義などもお届けしていきます。

今日はあえてシンプルに解説しましたが、FX初心者の方だとこれだけでは分からない部分もあったかと思います。

もしかしたら知らない単語などもあったかも知れません。

その辺は追って「**分かりやすい図解マニュアル**」なども準備していきますので、今日のところはザックリの説明でお許しください。

それと・・・

- ・ピンバープライスアクションの鉄板パターン
- ・ピンバーが出そうなタイミングを見分ける方法
- ・ピンバー以外のプライスアクション
- ・もう1つのフリスタFX（フリスタ其の2）

これらに関してもタイミングを見つつご説明していきますので、そちらも楽しみにしておいてくださいね！

しかし・・・・・・・・

こういう手法だけを追いかけていては、、いつか必ず大きな損失を出してしまうんですね。それは間違いないんです。残念なことに・・・

なぜそう言い切れるのか？

ここにも「人間」という生き物の性質が大きく大きく関わってくるからです。

分かりやすく簡単に説明しますと、

「なぜそういう手法になったのか？を理解しないままだと、負けが続いた時に自信が持てなくなって辞めてしまうから。」

これなんですね。

負けに負けを重ねた段階でやめるわけですから結果は当然"負け"です。

しかし、本来「トレード」というものは統計学の要素が過分に入りますから、分母となる「トレード回数」が多くなると本来の意図にそぐわないわけです。

「大数の法則」が働くので、同一ルールでトレードをすればするほど「想定に近づく」わけですね。

**つまり「参加し続ける」必要があるのです。**

コインの表裏どちらかが出る確率は50%ですが、表ばかりが5回連続で出ること十分あるわけで、そこで裏に賭けていて「5連続で表だからやめる！このコインおかしいんじゃないの？」とはなりませんよね？

**「賭け続ける事が出来る」**

という大前提さえあれば、5回が10回になり、100回になり、1万回になれば、おおよそ「50%」という確率に収束していくのが「分かっている」わけですからね。

**だから自信を持って続けられるのです。**

つまり・・・

トレードにおいても「原理原則」という部分を理解していないと、手法そのものを理解し切れない・・・その手法の裏側にある本当の意味・・・そういう部分を理解し切れないので自信を持ってトレード出来ないのです。

そうは言っても「原理原則」と言うのは複雑ですし一言で語れるものでもありませんから、そこは時間をかけてゆっくり学んで頂くしか無いと思っています。

ひとまず今日のレポートで「要点」はお話しますので、そこからゆっくり学んでいきましょう！

# リスクコントロールが最重要！

## リスクを捉える6つのポイント

それでは早速「要点」をお伝えしていきますが、まず最初にお伝えしておきたいのは、ここでは「あなたも知っている話」が複数出てくると思います。

と言うのも、トレードの根幹にある「リスクコントロール」という概念は、大きく6つのポイントがあるのですが、その中の1つだけ・・・とか2つだけ・・・とかをピックアップした話しはよく見かけるからです。

しかし、重要なのは「複合的に考える」ということ。

1つ1つを「単品」で捉えるのではなく、総合的に踏まえて考えていかなければいけないと言うことです。

もしかすると難しく考えてしまうかも知れませんが、ひとまず今は理解出来なくても全然構いません。

こうして「知ろう！」とする心構えが重要なのです。

今はそれで十分ですから、安心してついて来てくださいね！

それでは早速見て行きましょう！

流し読みで結構ですから最後までお付き合いくださいね！

### 1. マインド (精神)

はい。出ました。マインド。(笑)

マインドって言葉だけで毛嫌いする人も相当おられると思いますが、やっぱりマインドは非常に重要です。

今日は要点だけ・・・なので、軽くサラッとポイントを話していきます。

まずは「己を知る」と言うことが重要。

自分は「ポジションサイズにストレスを感じるか？」それとも「値幅の乖離にストレスを感じるのか？」など、自分のタイプを知っておく必要がある。

これがそのまま「スキャル」と「スイング」どっちに自分は向いているのか？  
と言うことに繋がります。

他にもエッジ（優位性）がどこにあるかを理解し、自分にはどういうエッジが向いているのか？なども考えます。

勝率なのかリスクリワードなのか？などですね。

また、手法ではなく技術を追う事が重要なのも理解しておかなければいけません。手法ばかり追いかける人は、「10万円が1年で1億円に！」とかの情報商材を買い漁るハメになってしまいます。

スノーボード初心者が「この板を買えばプロ並みに滑れますよ！」と言われていたようなもので、良い板を使ったからっていきなり滑れるようにはならないわけです。

反復練習無くして成長は無いつてことを理解しておかねばなりません。

反復練習によって相場観が身につき、そしてそれは技術に変わります。

例えば・・・半丁博打は「99%運任せ」です。技術は関係ない。

では将棋は？と言うと、99%技術勝負で運の入り込む余地は無い。  
プロ棋士と1万回勝負しても、素人が勝つことは1度も無いでしょう。

では麻雀は？と言うと、技術7割で運3割・・・くらいのゲームです。

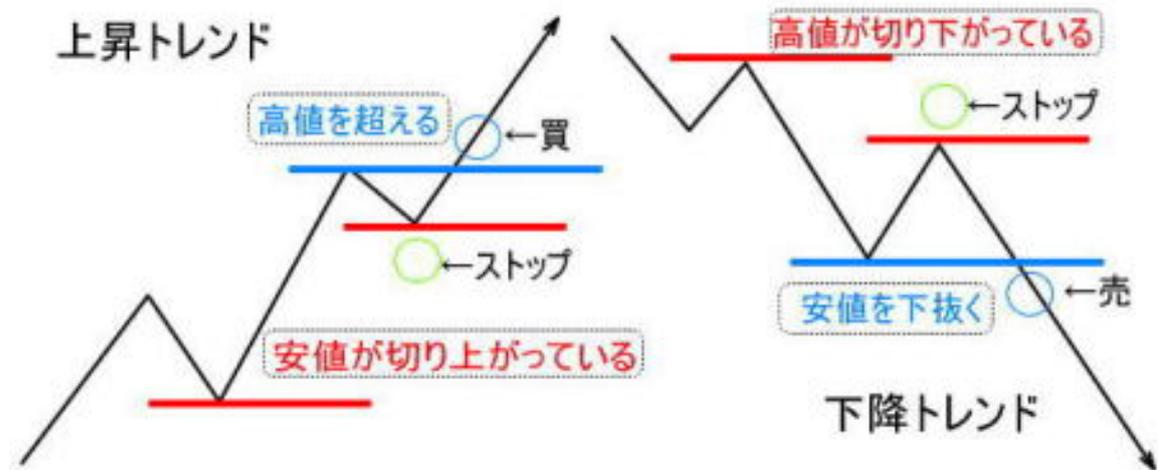
「雀士」って言葉があるくらいだから麻雀にも強い弱いがあるから、これも技術のゲームだと言える。だけど、どんなに強くても「運」が悪ければ負ける時もある。

トレードとは麻雀と同じだと思ってください。

麻雀には「捨て牌から相手の意図を読む」とか「ツモ牌から流れを読む」と言った技術があるのと同じで、トレードにも「チャートから流れを読む」と言う技術があるわけです。

技術がなければそれはただの運。半丁博打と変わらないってこと。

## 2. トレンド (流行)



ダウ理論がなにより重要。

高値と高値が上がっていて、安値と安値があがっていたらアップトレンド。

なぜこれをリスクコントロールにいれてるかというのと、左図の安値（赤い線のストップの部分）を下に割ってきたら、安値が切り下がってしまって、「アップトレンドではなくなる（安値と安値が切り上がってないから）」ので損切りをしなくてはならないから。

アップトレンドだから買ったのに、アップトレンドではなくなったなら切らなきゃいけない。

ロスカット（損切り）にも根拠があるわけですね。

### 3. ボラティリティ（変動率）

ボラティリティーは変動率で、どのくらい動いているかということ。

相場はすごく動いている（ボラティリティが高い）か、レンジ（ボラティリティが低い）のどちらか。

相場はレンジのあと動き出すので、ボラティリティが低い時にエントリーして、ボラティリティが高くなった時にその波に乗っているのが理想。

つまりボラティリティが高い時にエントリーするのは無謀（リスクが高い）で、それより、ボラティリティが低い時に仕込む（メリットが大きい）べき。

### 4. ロスカット（損切り）

損切りは精神的にキツイのですが、それは人間が損切り出来ないメカニズムになっているから。

これは「プロスペクト理論」という理論が証明しているのですが、この理論は多くの人が解説していることなのであなたもご存知かと思います。

なので詳細は割愛しますが、要は・・・

「利益はすぐ確定したくなってしまう、逆に損は確定したくないから先送りにしてしまおう」

ということ。

何も考えないで人間はこういうことをしてしまうので、機械的に損切りをしなくてはいけない。

機械的に損切りを行う為には「精神的に耐えられる金額での損切り設定」これをしておかななくてはいけない。

ちなみに僕は、初心者さんなら2～3%の設定。  
上級者でも5%を最大値として見るべきだと教えています。

また、プロスペクト理論に関しては割愛しましたが、もしあなたが「知らない」  
って場合はネットで検索してみてください。

## 5. ポジションサイジング (取引量)

ここで昨日の問題の解答となるのですが、解答はこの後ゆっくりしますので、  
ここでは「要点」だけお伝えしておきます。

ポジションサイジングとは適切な取引量でトレードしましょうと言うこと。

大きく賭ければリターンも大きいと思われがちですが、それは間違い。

また「適切な取引量」は一定値ではなく、状況に応じて変化するもの。

詳細は後ほどお話しします。

## 6. システム (組み合わせ)

上記5項目を理解し、自分自身に置き換え最適化し、バランスを取って組み合わせることで「システム」になる・・・という考え方。

後はこの組み合わせから導いた結果を淡々とこなしていく事が重要。

はい、ザックリお伝えすると上記の通りです。

ここは話し出すとまる二日ずっと話せるくらい長くなってしまいうので、かなりザックリとお話しましたが、イメージだけでも掴んで頂けたでしょうか？

こういう「リスクコントロール」という概念を念頭においてトレードを学んでいく必要があるわけですね。

で・・・・・・・・

途中ですっ飛ばしていた「ポジションサイジング」の部分ですが、昨日のレポートの解答となる項目なので、ここだけ改めて解説していきたいと思います。

## 答え合わせ

それではさっそく昨日の問題の解答をしていきたいのですが、これは先ほどの「リスクコントロール」という概念に大きく関連する「ポジションサイジング」という項目とも深く関わってきますので、しっかり覚えて頂ければと思います。

ただ、お気付きの通り昨日の問題は「投資・運用」といった相場の世界とは直接関係ありません。

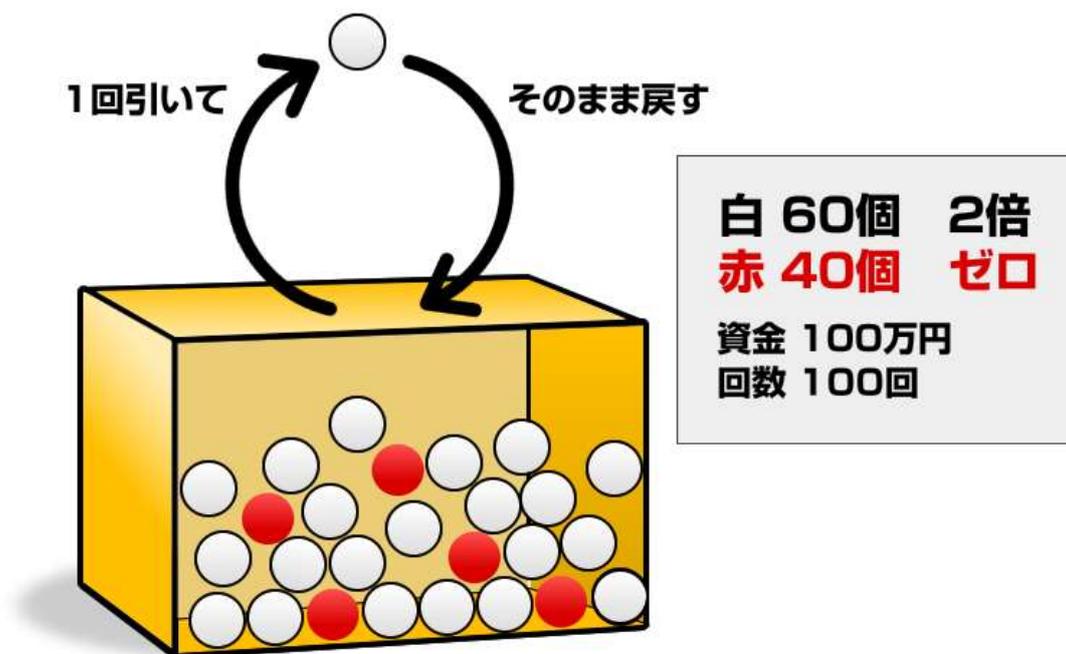
ですが、相場と言うのは非常に複雑で難しいところもあり、簡単にポジションサイジングを解説することは不可能に近いものです。

ですから、出来るだけ分かりやすく簡略的に説明する為の例題なので、それを踏まえて聞いて頂ければと思います。

相場とは直接関係なくても、考え方や視点、ポイントという意味では大いに繋がりのある例題なので。

ではさっそく。

まずは問題をおさらいしてみましょう。



上記のような条件下で「利益が最大化する賭け方は？」と言うのが問題でした。

単純に考えれば「勝率60%」のゲームなので、普通にやれば「勝てる（利益が出る）」と言うのは何となくでもお分かり頂けるかと思います。

しかし、ポジションサイジングと言う概念を持たずにこのゲームに参加すると、大抵の場合は「負ける」か「大して利益を伸ばせない」と言う結果になってしまいます。

もし僕がその場において、「利益が1番大きい人の総取り！」みたいな展開になれば、僕1人の大勝ちとなるわけです。

それは「なぜか？」と言うのを解説していきたいと思います。

まず、せっかく「問題」として出題して多くの方に回答を頂きましたので、特に多かった答えを元に説明していきたいと思います。

まず・・・

大前提として「勝率60%」という大前提があります。

通常の相場の世界では、まずは「勝率は何%なの？」という事を調べていく過程があるのですが、今回の場合はそれがありません。

リスクを考えた場合、負率は40%ですから「40回連続で負ける可能性」と言うのも可能性としてはあるにはあります。非常に小さな可能性ですけども。

計算してないので分からないですが、何千万分の1とかの可能性だと思います。

下手すると億分の1とかもあり得るわけですが、可能性として0じゃない。

毎回ボールを戻すので、「可能性」と言う意味では40回以上連続して負ける可能性もゼロでは無いのですが、大前提が負率40%である以上「大数の法則」が働くので、回数が増えれば増えるほど40%に限りなく近づいていきます。

ですからここでは、最大リスクを「40回連続で負ける」という点に絞って話していきますと、下記のような答えが出てきます。

**100万円 ÷ 40回 = 2.5万円**

40回連続で負けてピッタリきれいに元本が無くなるのが2.5万円。  
ギリギリ元本が残るようにすると24,999円。

これを1回に対して賭けるわけですね。

今回の問題に対する回答で、上記の回答が2番目に多い回答でした。

これだとどういふ結果になるのか？ですが、これは簡単に答えが出ますね。

まずは「勝った場合」から見てみますと、2.5万を賭けて2倍になるわけですから、儲かる金額は「2.5万」です。2.5万の投下資金に対して配当が5万なので、差額分が儲けとなるから2.5万。

これが60回あるので「2.5万×60回」と言うのが「勝ち分」です。

反対に「負けた場合」を見てみると、2.5万を賭けて0（ゼロ）になるわけですから、単純に「2.5万×40回」と言うのが「負け分」ですね。

「元本+勝ち分-負け分=最終総額」

こういう計算式になりますので、ここに数字を当てはめると・・・

**100万+2.5万×60回-2.5万×40回=150万円**

こういう答えになります。

元本100万円が150万円に増えた・・・ということですよ。

増えているので問題は無いのですが、「利益の最大化」と言うのが問題でしたから、これで合ってるか？となると微妙ですよ？

それにこれがもし実践だった場合、負けの連続記録が41回になった時点で破綻してしまいます。可能性としては限りなくゼロに近い確率ではありますが、それでもゼロではない訳です。

ではどうすれば良いのか？？

ここで一旦、勝ちと負けを分解して考えてみます。  
永遠に勝った場合と永遠に負けた場合どうなるか？  
これを考えてみたいと思います。

■勝ち続けた場合

1回目：資金100万 賭け金2.5万 結果102.5万  
2回目：資金102.5万 賭け金2.5万 結果105万  
3回目・・・

このようにして勝ち続けるのですが、いつかは膨大な資金に膨れ上がります。  
資金が1,000万円になった状態を見てみますと・・・

○資金1,000万円 賭け金2.5万円 結果1,002.5万円

こういう結果になります。

1千万円もの資金に対して賭け金は2.5万円だけ・・・と言う事ですね。

同様に負け続けた場合も見てみます。

■負け続けた場合

1回目：資金100万 賭け金2.5万 結果97.5万  
2回目：資金97.5万 賭け金2.5万 結果95万  
3回目・・・

このようにして負け続けるので、いつかはわずかな資金になってしまいます。  
仮に10万円まで目減りしたとすると・・・

○資金10万円 賭け金2.5万円 結果7.5万円

こういう結果ですね。

わずか10万円の資金に対して2.5万円も賭けている・・・と言う事です。

こうして見てみると「違和感」を覚えますよね？

資金1,000万ならもっと大きく賭けたいですし、資金が10万円しかないならもっと小さく賭けたい・・・そう思うわけです。

と言うことは？

**「一定の数字に固定されている事がおかしい」**

と言う点に気づくかと思います。

固定させない為には「〇〇円」という単位から「〇〇%」と言う風に、「%」という単位を使う必要が出てきます。

元々の問題に話しを戻しますと、40回連続で負けても良いようにする為に導き出した公式が、

$$100万円 \div 40回 = 2.5万円$$

こちらの公式でした。

ここの「単位」を「%」に変えてみると・・・

$$100\% \div 40回 = 2.5\%$$

こういう公式になります。

この状態で先ほどと同じ事をするとうなるかを見て行きましょう。  
先ほどと同じように「勝ち続けた場合」と「負け続けた場合」を見ていきます。

#### ■勝ち続けた場合

1回目：資金100万 賭け金**2.5%** 結果102.5万

2回目：資金102.5万 賭け金**2.5%** 結果105.0625万

3回目・・・

このように、先ほどより「多く」増えているのが分かるかと思います。  
先ほど同様に資金が1,000万円になった状態も見てみますと・・・

○資金1,000万円 賭け金2.5% 結果1,025万円

こういう結果になります。

1千万円の2.5%は「25万円」なので、このような結果になるわけです。

同様に負け続けた場合も見てみます。

#### ■負け続けた場合

1回目：資金100万 賭け金2.5% 結果97.5万

2回目：資金97.5万 賭け金2.5% 結果95.0625万

3回目・・・

このようにして負け続けるのですが、先ほどより「減り幅が小さい」ことがお分かり頂けますか？ 先ほど同様10万円まで目減りした場合で見ると・・・

○資金10万円 賭け金2.5% 結果9万7,500円

こういう結果になります。

先ほどは10万円の元本に対して2万5,000円も賭けていたのですが、単位を%に置き直すと、10万円の元本に対して賭け金は2,500円になったわけですね。

当初の問題に当てはめてみても、40回連続で負けたとしても「363,232円」がまだ手元に残っている状態。

あり得ないような確率で41回連続負けが来てしまったとしても「354,152円」も手元に残るわけです。

※実際に計算してみてください。

いわゆる「複利」の逆効果が起きているので、理論上は「永遠に0にならない」という事になります。

要は元本が増えれば増えるだけ賭け金も上がり、元本が減れば減るだけ賭け金も下がることになりますから、

- ・利益は大きく
- ・損失は小さく

という形になり、ゲームから退場することも無くなるわけですね。

ではここで、当初の問題に立ち返って「利益の最大化」という観点で見ていくとどうなるかを考えてみたいと思います。

先ほどはシンプルな計算で、

$$100 \text{ 万} + 2.5 \text{ 万} \times 60 \text{ 回} - 2.5 \text{ 万} \times 40 \text{ 回} = 150 \text{ 万円}$$

このような公式と結果になりましたが、%計算となると若干複雑になりまして、文章で説明するのは相当大変なので、申し訳ないですが説明は割愛させて頂き、いきなり「公式と結果」をお伝えします。(汗)

$$100 \text{ 万} \times (1 + 2.5\%)^{60} \times (1 - 2.5\%)^{40} = 160 \text{ 万円} \quad ※ \text{小数点は四捨五入しています。}$$

こういう計算式と結果になるのですが、これが正しいかどうかは実際に計算して頂くか、僕を信用して頂くかのどちらかしかありませんが、結論としてこのような結果になる・・・と言うことですね。

見て頂いた通りなのですが、最初に計算した時と新しく%で計算したのを比較してみても、最終利益に大した差は無さそうです。

「なんだよ・・・大して変わらねーじゃん！」

こんな声も聞こえてきそうですが、ここから「更に」考えていきます。

「そもそも"2.5%"って数字が"ベスト"なのか？」というのを・・・

そもそも「2.5%」と言う数字は、単純に100を40で割っただけの数字で、元々は「100万円が40回連続で負けて破綻しない（丁度になる）数字」として2.5万円を算出した数字です。

これをそのまま%に置き直したのが2.5%で、実際に2.5%で40回連続で負けたとしても、36万円ほど元本が残るわけです。

※正確には363,232円ですね。

つまり、最大リスクどころかまだまだ余裕があって、「**リスクを取っていない**」という状態だと言うことがお分かり頂けるかと思います。

最大リスクである40回連続負け・・・という状態でも36万もの資金が残るわけですから、もっとパーセントを上げて破綻しないし、利益も大きく取れるのではないかと考えられるわけですね。

答えを求める為には先ほどの「2.5%」の部分はどうするべきか？という事で、結果的に得られる最終利益も現時点では不明・・・

つまり計算式としては下記のような状態にあるわけです。

$$100 \text{ 万円} \times (1 + X\%)^{60} \times (1 - X\%)^{40} = ??? \text{ 万円}$$

このような計算式を解けと言われても僕もサッパリ分からないのですが、少なくとも「X」は、【 $0 < X < 100$ 】だと言うことは分かりますね。

0より大きくて100より小さいのがXです。

それが分かっていたら、後はあんな難しい計算式を解かなくても、1つ1つ「X」に数字を当てはめていけば良いだけです。

$$X = 1$$

$$X = 2$$

$$X = 3$$

・

・

と言う感じで1つ1つ計算していけば良いですね。

さすがに手計算で1つ1つ計算するのはキツイので、エクセルで計算したものを下記に記載致します。

100回	50%	51%	52%	53%	54%	55%	56%	57%	58%	59%	60%
1%	1.00	1.02	1.04	1.06	1.08	1.10	1.12	1.14	1.17	1.19	1.22
2%	0.98	1.02	1.06	1.11	1.15	1.20	1.25	1.30	1.35	1.41	1.46
3%	0.96	1.02	1.08	1.14	1.22	1.29	1.37	1.46	1.55	1.64	1.74
4%	0.92	1.00	1.08	1.17	1.27	1.38	1.49	1.62	1.75	1.90	2.06
5%	0.88	0.98	1.08	1.19	1.32	1.46	1.61	1.78	1.97	2.17	2.40
6%	0.83	0.94	1.06	1.20	1.35	1.52	1.72	1.94	2.18	2.46	2.78
7%	0.78	0.90	1.04	1.19	1.37	1.58	1.81	2.09	2.40	2.76	3.18
8%	0.73	0.85	1.00	1.17	1.38	1.62	1.90	2.23	2.62	3.07	3.61
9%	0.67	0.80	0.96	1.14	1.37	1.64	1.97	2.36	2.82	3.38	4.05
10%	0.61	0.74	0.90	1.10	1.35	1.65	2.02	2.46	3.01	3.68	4.50
11%	0.54	0.68	0.85	1.06	1.32	1.64	2.05	2.55	3.19	3.97	4.95
12%	0.48	0.62	0.78	1.00	1.27	1.62	2.06	2.62	3.33	4.24	5.40
13%	0.43	0.55	0.72	0.93	1.21	1.58	2.05	2.66	3.45	4.49	5.83
14%	0.37	0.49	0.65	0.87	1.15	1.52	2.02	2.67	3.54	4.70	6.23
15%	0.32	0.43	0.59	0.79	1.07	1.45	1.97	2.66	3.60	4.87	6.59
16%	0.27	0.38	0.52	0.72	0.99	1.37	1.90	2.62	3.62	4.99	6.90
17%	0.23	0.33	0.46	0.65	0.91	1.28	1.81	2.55	3.60	5.07	7.15
18%	0.19	0.28	0.40	0.57	0.83	1.19	1.71	2.46	3.54	5.10	7.34
19%	0.16	0.23	0.34	0.50	0.74	1.09	1.60	2.35	3.45	5.07	7.45
20%	0.13	0.19	0.29	0.44	0.66	0.99	1.48	2.22	3.33	4.99	7.49
21%	0.10	0.16	0.25	0.38	0.58	0.88	1.35	2.07	3.18	4.86	7.45
22%	0.08	0.13	0.20	0.32	0.50	0.78	1.23	1.92	3.00	4.69	7.33
23%	0.07	0.11	0.17	0.27	0.43	0.69	1.10	1.75	2.80	4.47	7.14
24%	0.05	0.08	0.14	0.22	0.36	0.60	0.97	1.58	2.59	4.22	6.88

ちょっと見にくいので、もっとアップにしたもので見ていきます。

	53%	54%	55%	56%	57%	58%	59%	60%
9%	1.14	1.37	1.64	1.97	2.36	2.82	3.38	4.05
10%	1.10	1.35	1.65	2.02	2.46	3.01	3.68	4.50
11%	1.06	1.32	1.64	2.05	2.55	3.19	3.97	4.95
12%	1.00	1.27	1.62	2.06	2.62	3.33	4.24	5.40
13%	0.93	1.21	1.58	2.05	2.66	3.45	4.49	5.83
14%	0.87	1.15	1.52	2.02	2.67	3.54	4.70	6.23
15%	0.79	1.07	1.45	1.97	2.66	3.60	4.87	6.59
16%	0.72	0.99	1.37	1.90	2.62	3.62	4.99	6.90
17%	0.65	0.91	1.28	1.81	2.55	3.60	5.07	7.15
18%	0.57	0.83	1.19	1.71	2.46	3.54	5.10	7.34
19%	0.50	0.74	1.09	1.60	2.35	3.45	5.07	7.45
20%	0.44	0.66	0.99	1.48	2.22	3.33	4.99	7.49
21%	0.38	0.58	0.88	1.35	2.07	3.18	4.86	7.45
22%	0.32	0.50	0.78	1.23	1.92	3.00	4.69	7.33
23%	0.27	0.43	0.69	1.10	1.75	2.80	4.47	7.14
24%	0.22	0.36	0.60	0.97	1.58	2.59	4.22	6.88

まだ少し見にくいですが青色の横列は「勝率」で、緑色の縦行は「%」です。

先ほどの「X」は「X%」ですから、勝率60%の列をずらずらっと見ていきますと、最も大きな数字として「7.49」と言うのが見つかりました。

これは「倍数」ですから、元本の100万にこの数字をかけると、最終的に手元に残る金額が分かります。

$$100\text{万円} \times 7.49 = 749\text{万円}$$

これが利益を最大化させた時の金額になるわけですね。

7.49倍の行を見ていくと、X%は「20%」だと言うことが分かります。

つまり、問題の解答と言うのは「20%」が正解になるわけです。

手元にある金額に毎回20%をかけた金額を賭けていく・・・と言う事が正解だったわけですが、実はこの問題を出させて頂いた意図としては、別に20%と言う数字を出したかったからではありません。

実際問題として、投資の世界で毎回資金の20%を投下するような事はリスクを取り過ぎですし、実際にやったところで資金が増えていくか？と言うと、そうではありません。

大前提としてのルールが違うので当たり前ですね。

**この問題をやる意義と言うのは、数字という「絶対的な理屈」にはどのような特徴があって、取引回数と取引量にはどのような関係性があるのか？**

これを知って頂きたかったのです。

こうやって数字におこして見ると実に様々な特徴が見えて来るのですが、大きな特徴の1つとして「投資額が大きければ利益も大きい」と言うのは、実は大きな誤解だった・・・と言う事も分かってきます。

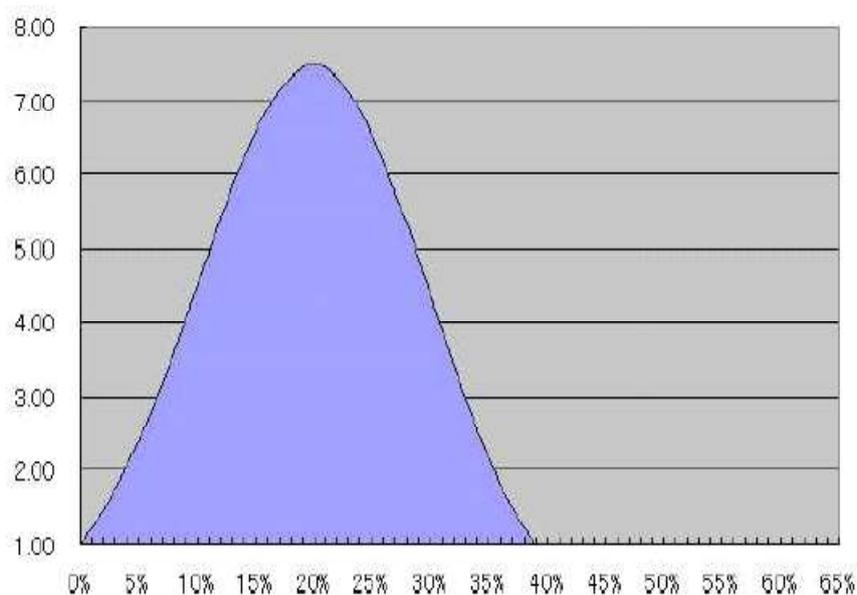
改めて先ほどの表を見て頂きたいのですが、倍率7.49を最大値として、そこから下に向かうとドンドン倍率は小さくなっていきます。

下に向かう・・・と言うことは「投資金額が増える」と言うことですが、結果的には「20%が最も利益が大きくなる」という結果だったわけです。

しかも・・・

最大値・・・今回の例で言うと20%ですが、そこをテッペンにしてローリスクもハイリスクも山なりの形を描いてリターンが決まっています。

分かりやすく図におこしてみると下記のような図になります。



つまり・・・

世間でよく言われている「ハイリスク・ハイリターン」「ローリスク・ローリターン」と言うのは間違いだ！ってことがわかります。

リスクを大きく取ったからといって、必ずしもリターンも大きくなるわけではない・・・という良い教訓です。

だとすると、**得られるリターンが同じであれば、リスクは低い方が良いに決まってるんです。**

こうやって理論的に考えていくと、いかに僕達が「思い込み」の世界で生きているかが分かるかと思えます。

こういう「真実を知って頂きたい」って意味と、ポジションサイジングというものの特徴を知ってもらう事で、より思考の幅が広がるかと思って、こういう問題を出させて頂きました。

いかがだったでしょうか？

ちなみに・・・

最も多かった答えは「1万円ずつ100回賭ける」という答えで、3番目に多かった答えが「1円ずつ100回賭ける」だったのですが、なぜこういう答えを「選んでしまう」のかと言うと、リスクリワードに関する6つのポイントの「ロスカット」の項目で少しだけ触れた、

### 「プロスペクト理論」

と言うのが大きく影響しています。

ロスカットの項目で割愛した話なので、ここでも詳細は割愛させていただきますが、簡単に言えば、

「人間は目の前に利益があると、利益が手に入らないというリスクの回避を優先し、損失を目の前にすると、損失そのものを回避しようとする傾向がある」

と言うことです。

つまり、確実に手元にある100万円を「減らしたくない」という欲求が、この100万円を使って「大きく儲けたい」という欲求よりも強いからこそ、リスク回避行動として、

「100回確実に引けるから1万円ずつ」とか、「最悪の場合、最も元本が減らないのは1円だけ賭けること」

と言う思考になるわけです。

詳しくは検索して調べて頂きたいのですが、この理屈を知らないと、

「できるだけ利益が伸びる方をとらなくてはいけないのに、利益はすぐ確定したくなる。逆に損はできるだけ早く確定させなければいけないのに、確定したくないから先送りにしてしまっって塩漬けになる。」

という、典型的な「コツコツドカーン (利小損大)」をやっちゃうわけです。

で、ですね。

今の話で分かるように、ポジションサイジングとロスカットの話は密接に関係していて、リスクコントロールの6ポイント全てが、同じように密接に関係し合っている・・・って事を忘れないで頂きたいのです。

密接に関係し合っているポイントのバランスを取っていくことこそが、「最高のトレード」に繋がっていくってこと！

これを絶対に覚えていてくださいね。

これこそ投資の原理原則ですから。

はい。これで今日お伝えしたかったことの9割は話し終えたのですが、後まだ1割分が残ってしまして・・・

この後それを話していきたいのですが、ここまででかなり疲れたんじゃないでしょうか？

いったん冷蔵庫からお茶を取ってきて頂いて、少し休憩してから続きに入りますよ！

最後の話はある意味「最も話したかった話」なので、お疲れなのは重々承知していますが、どうか最後までお付き合いください。m(\_)\_m

それでは宜しいですか？

# 環境が人生を大きく変える

ここまでお話してきたのは「投資の原理原則」や「フリスタFXという手法そのもの」でしたが、ここでもう1つ問題になるのが、

「どうやってマスターすれば良いのか？」

という点です。

リスクコントロールの6ポイントにしても、頭で分かっているも「バランスってどういう事だ？」と、どこか頭の中が霧がかかった状態になっているかと思えます。

何から何をどうすれば良いの？的な感覚でしょうか？

フリスタFXの手法の1つである「ピンバーのプライスアクション」にしても、

「この認識で合ってるのかな？」

「〇〇って場合はどうすれば良いんだ？」

「利確のルールによってかなり結果が変わるのでは？」

「と言うか、正直あれだけじゃサッパリ分からないんだけど・・・」

などなど。

いきなり実弾で実践できるか？と聞かれたら難しいと思うのです。

プライスアクションのトレード法は、また追って動画でもお伝えしていきますが、それでも結局は実践するのが怖かったり、何か1つでも引かかる事があつたら行動に移せなかったりするもの。

それは仕方ないと思うんですね。

今まで2万人以上の人にFXを教えてきましたので、多くの生徒さん達の事例からも、上記のような感覚になるのはよく分かります。

ですが、それだけ多くの人に教えてきたおかげで、どうすればその問題を解決できるのかも僕にはよく分かっているのです。

その答えが「環境」なんですね。

「僕が実際に何を考え、どんなトレードをしているのかを見れる環境」

「分からないことがあった時に、すぐに僕に聞ける環境」

「より深く理解する為に議論し合える仲間達」

「直接あなたの横で僕が教える環境」

こういう環境があったらどうでしょうか？

分からない事があっても僕が横について事細かに説明出来ますし、実際に僕がやってるトレードを見てもらえば理解も深まる・・・

あなたのトレードを僕が見て、「そこは〇〇だからエントリーしない方が良いよ！」と言えば、グダグダと文章で説明するよりよっぽど分かりやすい・・・

1人孤独にビクビクしながらトレードしていた人も、隣の仲間と一緒にあって、「あーでもない、こーでもない」って話し合えたら楽しいと思いませんか？

結局、こういう「レポート」とか「マニュアル」とか「動画」とかで、いくら僕の手法や考え方を教えたところで、

「人によって受け取り方が違う」

という現実がある以上、認識が合っているのか？ちゃんと伝わっているのか？  
と言うのを確認できる環境が無いと、100%ノウハウを伝えていくことは難しいのです。

そもそもあなたからしても、マニュアルを渡されて「はいど一ぞ」と言われても、何からやって良いのかも分からないですし、**極端な話し何が分からないのかも分からない**・・・なんて事にもなりかねない。

それに何より・・・・・・・・

**トレーダーというのはめっちゃくちゃ孤独です。**

「いま持ってるポジションは、このまま持ってて良いのか？」  
「エントリーした途端、逆に行っちゃったけどこれ大丈夫??」  
「含み損を抱えちゃったけど、損切りした方が良いの?」

常にこういう自問自答と戦い続けなければいけないわけで、こういう事がストレスに繋がってしまうわけです。

もちろんフリストFXと言うのは、こういうストレスも含めて限りなくストレスフリーな手法ではありますが、それでもゼロになるかと言えばそうでは無い。

だとすると、こういう問題を解決できるのは「環境」しかなくて、  
極論は「チームを作ること」でしか解決できないのです。

なぜ僕は10年以上もトレードで勝ち続けてこれたのか?  
なぜ短期間でトレードの原理原則を理解出来たのか?  
なぜ自分の目指したトレードスタイルを確立出来たのか?

こういった僕自身のトレーダー人生を振り返ってみると、根底にあったのは  
**「CFG (Concorde Forex Group)」という環境でトレードを学んだ経験**です。

アメリカは投資先進国と言うだけあって、ちゃんと生徒1人1人の「将来」も考えた上で、あのような環境を用意していたのだと考えれば、投資の世界でどれだけ先をいつているのか分からないくらい進んでいると思います。

僕"個人"としての「トレード技術」は間違いなくCFGから学んだものが土台と  
なっていますし、トレードを教えていく立場の"投資教育者"としての僕が学ぶべ  
きものも、CFGにあると分かったんですね。

例え時間がかかっても、しっかりと原理原則を伝え・・・  
僕の手法を教えることで確かな利益も得てもらい・・・  
切磋琢磨し合える仲間と成長していく・・・

これは「最強のトレーダー集団を作る！」と言う、  
僕の夢さえも実現できる確かな環境だと確信しているんです！

CFGでは徹底的に原理原則を叩きこまれました。  
世界最高峰のトレードノウハウも教えてもらいました。  
今でも相談し合える仲間が世界中に出来ました。

これだけでも十分だとは思いますが、CFGではスクールを卒業し、1万\$を  
運用できるレベルになったら「CFGの講師になって、CFGの資金を運用し、  
出した利益から配当を受け取れる」という制度まであったんですね。

これって正に「最強のトレーダー集団養成所」ですよ？

投資教育という観点でベストな形を模索していたら、CFGをモデルとした「環  
境作り」という答えに辿り着き・・・

僕自身の夢である「最強のトレーダー集団作り」を模索していたら、CFGの  
「環境」に辿り着いた・・・

「あ、やっぱりそう言う事なんだ・・・」

そう僕が確信したのは言うまでもありません！

# 1千万円トレーダーを100人育てたい！

これが今の僕の「具体的な夢」です。

まずはこれから用意する「環境」で、フリスタFXの全ノウハウを学んで頂き、最低でもトレードに回せる自己資金が1千万円になるまで稼いで頂きます。

そして、例えゆっくりでも「投資の原理原則」をしっかり学んで頂いて、今後相場がどのように変化しようとも、好きな時に好きなだけ稼げる「生涯使える能力」にまで高めて頂きます。

それが出来れば、いつでも好きな時に、好きな場所で、好きなだけ稼いで、自由気ままでストレスから開放された「真の自由」を手に入れて頂きます。

後はもうあなたの自由。

僕と一緒に世界を旅しても良いし、1千万円の自己資金を安全運転で運用して、月間利回り10%くらい（月に100万円程度の利益）を得続けても良い。

昔の僕のようにガンガン運用して、1千万円とは言わず1億円にしたって良い。

**全てあなたの自由です。**

そして僕にはこれだけの事が出来る仲間が出来るわけですから、この仲間達こそ「最強のトレーダー集団」と言えると思うのです。

まずはそんな仲間を100人作りたい！

そして今度はその100人と協力し合って、また次の仲間を作っていく・・・

それが今から僕が作り上げようと決意している「環境」であり、あなたのように熱心に学ぼうとして下さっている方々にとっての「最高の学び場」・・・この「場所」の名前は・・・

# Chart Master Academy

## (チャート・マスター・アカデミー)

これこそ、僕が自分自身の人生における「セカンドステージ」として、ライフワーク（人生をかけて取り組むこと）にすると決意したプロジェクト。

略して「CMA」です。

はい。これでスッキリしたかと思いますが、僕があなたにお送りしているメールのタイトルに入っていた謎のアルファベット「CMA」。

これはチャートマスターアカデミーの略で「CMA」なんですね。

僕にとっての「CFG (Concorde Forex Group)」を、あなたにとっての「CMA (チャートマスターアカデミー)」として再現したい・・・

これが僕の決意したプロジェクトです。

正しい理論を学び、その上に確かな手法を乗せれば、本来FXで稼ぐことは本当の本当に簡単なんです。

定年退職をむかえるまで会社の奴隷のようにこき使われ、それでも歯を食いしばって頑張って、最後には老後破産してしまうような、冒頭でお話していたような方々の方が「**よっぼど努力されている**」と断言できます。

きっとあなたもそうだと思うのです。

僕なんかよりよっぼど努力して頑張って生きてこられたはずです。

だからこそ、正直僕は「もったいない・・・」とってしまうんですね。

失礼なことを言っているのは重々承知の上で続けさせていただきますが、僕なんかよりよっぽど努力して来られたあなたが、このまま今まで通りの人生を歩めば、

#### 「4割以上の確立で老後破産」

してしまうという現実には直面しているわけです。

全力で努力して頑張っ、やりたい事も好きな事もあなた自身の夢さえも犠牲にして、全力で突き進んだ人生の先に待ってるのが老後破産・・・

それじゃいくらなんでも悲しすぎるし、やっぱり「もったいない」と言うのが僕の率直な気持ちなんです。

ちゃんとFXを"能力""技術"として身につけさえすれば、今の努力の10分の1、いや100分の1とかで「**お金に対する不安**」は無くなるんですね。

あなたより努力もせず、覚悟も決めず、頑張りもせずに生きてきたのに、こうして今あなたに偉そうに語っている若造の僕が、良くも悪くも良い証拠だと思うのです。

FXを技術として身に付けることで、相場という資本主義が無くならない限り永遠に存在し続けるマーケットから、いつでも好きな時にお金を引き出し続けられるって、人生においてとてつもなく大きなアドバンテージ。

それは誰もが知っているのに、それなのになぜFXを"技術"とか"能力"ってレベルで習得している人が、日本ではこんなにも少ないのか？

それはやっぱり、

- ・ **全く知識がない**
- ・ **過去に退場したことがある**
- ・ **何となく危ないモノな気がしてる**
- ・ **人から聞いた話で危険だと思っている**

- ・明確なルールを自分では持っていない
- ・どこで学ばばいいのかも分からない
- ・興味を持った結果がノウハウコレクター

などなど。

要は「分からな過ぎて怖い」ってのが1番大きな問題なんだと思うんですね。

だからこそそのCMA。

ちゃんと原理原則も学んでもらって、今すぐ使える手法（フリスタFX）も知ってもらって、僕が隣にいる状態で一緒に実践して行って、しっかり"能力"として身につけてもらえる環境がCMA。

僕のトレードなら今まで抱いていたFXに対する「イメージ」とか「過去の経験」とか、そういうのが全部変わると思います。

リスクは5%以内だから安心だし、  
エントリーにも決済にも明確なルールがあるし、  
そのトレードそのものに確かな根拠があるし、  
実際に目の前で「ここ割ったらエントリー」とか実演できるから、「おお、ホントだ！」って心の底から納得してもらえるし・・・

ちゃんと根拠あるトレードをしていけば、ラッキーとかじゃなくて毎回同じことが出来るようになるので、ちゃんと自信を持ってトレード出来るようになる。

とりあえず、まずはここまで辿り着いてもらうことが重要で、そこから先はCMAの生徒さん達には好きな生活が出来るようになってほしい。

**「好きな時に好きな所へ行けて、好きな事を好きな人とできる」**

あなたにも、やっぱりこういう人生を送ってもらいたいな～って思います。

今のままの生き方では、冒頭でお話したように「老後破産」などのリスクが大きいのが現実です。

### 今のままでは夢を叶えるどころか、「普通の生活を送ることすら難しい・・・」

あなた自身もこれは何となくでも気付いていて、だからこそ「どうすれば良いか?」「どうやったら解決できるか?」と言うのを考えて、僕のこのレポートに辿り着いたんだと思います。

そういう意味では少なからずFXに興味を持っておられるんだと思いますが、興味があるってことは、今やらなくてもいつか必ずやるってことだと思います。

どうせ遅かれ早かれFXに手を出すのなら、ちゃんとCMAで学んでからやった方が絶対に良い。

他で見かける「素人トレーダー」にメチャクチャなこと教えられて大損したり、独学で学んで資金をふっ飛ばしたりする前に、ちゃんとしたところで学ばないといけません。

そういう「ちゃんとした場所」として、僕はCMAを開講したのです！

なんとなくでも、僕がCMAで「何をしようとしているのか?」と言うのは、お分かり頂けたでしょうか？

僕の思いや考えが、しっかり伝わっていれば幸いです。

さて。

さすがに長くなりすぎましたし、ところどころ「小難しい話」なんかも出てきてしまったので、あなたもきっとお疲れだと思います。

ですからこの辺で今日のレポートは終わりにしたいと思いますが、最後に1点だけ、僕から質問させてください。

# あなたにお伺いします！

「最強のトレーダー集団を作る！」

という考えを具現化する為にこのようなプロジェクトを発足し、こうしてあなたと出会えたわけですが、ここまでご覧頂いて、

「ぶっちゃけ話、あなたはどう思われますか？」

「こういう環境はほしいと思いませんか??」

「CMAは必要だと思いますか？」

これを教えてもらえませんか？

本音で言ってくれて構いません！

ここまで僕も本音で話してきましたので、あなたにも本音で答えて頂きたいので、率直な感想として「どう思うか？」を教えてくださいたいのです。

このレポートの申込みページでもお伝えしていたように、僕が運営するトレードアカデミー「CMA」は、2015年7月に開講してすでに**“大成功”**と呼べる結果を残してきています。

数日後にお届けする「実践者へのインタビュー」とかをご覧頂ければ分かると思いますが、かなりの成果を出すことが出来ているんですね。

しかし、僕としてはCMAをより充実させていきたいと考えているのですが、もしあなたがCMAに全く興味が無ければ何の意味もありません。

すでにCMAに参加して下さっている方々とだけ、楽しく稼いでいっぱい遊んで人生を謳歌すれば良い・・・という話しになってしまいます。

僕としては非常に残念ですけども。

そういった背景もありますので、事前に「CMAは求められているのか？」という事を聞いておきたいので、あなたの率直なご意見を聞かせて頂けると嬉しいです。

頂いたご意見には全て目を通しますし本音で返信もさせていただきます。  
僕とあなたの1対1・・・本音と本音で意見交換したいと思っています。

**CMAは僕の一人よがりの構想なのか？**  
**それともあなたにも必要とされている環境なのか？**

これを教えて頂けると幸いです。

長文にお付き合い頂いた後でお疲れだとは思いますが、ぜひ「現時点の率直な意見」として、CMAは必要かどうかを教えて頂けませんか？

CMAの詳細はこれから少しずつお伝えしていく予定ではありますが、とりあえず今日お伝えした「構想」だけで判断するなら、あなたはどう思われますか？

それを教えて頂けましたら幸いです。  
連絡先は下記の通りです。

メール：[info@chart-ma.com](mailto:info@chart-ma.com)

件名：CMAに関して。

質問1：あなたはCMAは必要だと思いますか？

質問2：質問1の回答に至った理由があれば合わせて教えてください。

質問3：このレポートへの感想があればお聞かせください。

今回のレポートはかなり長くなってしまいましたので、1回読んだだけでは理解しきれないところもあったかも知れません。

なので、繰り返し何度も何度もご覧頂ければと思います。

また、フリスタFXの1つである「ピンバーのプライスアクション」ですが、  
どういう手法なのか？という理解を深めて頂きたいので、追って「動画」にて  
改めて解説させていただきます。

今日はさすがにお疲れかと思しますので、数日後に「解説動画」をお届けしま  
すので、改めて学んで頂いて、しっかり身につけて頂ければと思います。

あ、それと・・・ピンバーのトレードで「どういう感じになるのか？」という  
のを検証した「**検証動画**」も**撮影しましたので、実際のリアルトレード結果を  
公開しながらの解説**も行っていこうと思います。

こちら楽しみにおいてください！

それでは・・・予定していたより随分長くなってしまいましたが、今日のとこ  
ろはこれで以上とさせていただきます。

不明点などあれば、お気軽にご連絡くださいませ。

また数日中に「ピンバーのプライスアクショントレード」の解説動画（動画講  
義）をお届けしますので、こちらも楽しみにおいてください。

※よく見かけるウサン臭い「対談」とかでは無いのでご安心を。（苦笑）

あ、CMAに関してのご意見もお待ちしていますので、ぜひあなたのご意見  
をお聞かせくださいね！

それでは最後までお付き合い頂きありがとうございました！

関東財務局長(金商)第 2086 号  
株式会社チャートマスター  
根崎優樹